

昭和病院

医療機関2025プラン

平成30年 10月 策定

【基本情報】

医療機関名	医療法人茜会 昭和病院
開設主体	医療法人茜会
所在地	下関市汐入町 35 番 1 号
許可病床数 (病床の種別) (病床機能別)	398 床 一般病床 164 床、療養病床 234 床 回復期 160 床、慢性期 238 床
稼働病床数 (病床の種別) (病床機能別)	398 床 一般病床 164 床、療養病床 234 床 回復期 160 床、慢性期 238 床
診療科目	内科、脳神経内科、消化器科、循環器科、外科、整形外科、皮膚科 泌尿器科、リハビリテーション科、放射線科、歯科
職員数 ・ 医師 ・ 看護職員 ・ 専門職 ・ 事務職員	425 名 17 名 181 名 101 名 47 名

【1. 現状と課題】

① 自施設の現状

届出入院基本料：一般病棟入院基本料（急性期一般5）、回復期リハビリテーション病棟入院料1、地域包括ケア病棟入院料2、障害者施設等入院基本料10対1、特殊疾患病棟入院料1、療養病棟入院基本料（入院料1）、介護療養施設サービスI型療養機能強化型A

在宅療養後方支援病院

通所リハビリテーション・訪問リハビリテーション・居宅介護支援事業所併設

救急搬送受入：年間 55件、病床稼働率 98.4%

② 自施設の課題

- ・高齢者、特に独居高齢者や認知症高齢者への医療ニーズの増加に対応
- ・回復期リハビリテーション、在宅サービス、後方支援機能の一層の強化
- ・神経難病患者・人工呼吸器装着患者の受け入れ拡大、在宅療養困難者の増加への対応
- ・有能な医療介護人材の育成、新技術の開発、地域介護力の向上、健康な街づくりへの支援
- ・施設設備の改築更新

【2. 今後の方針】 ※ 1. ①～②を踏まえた、具体的な方針について記載

① 地域において今後担うべき役割

- ・地域包括ケアシステムの構築に寄与する

明るい超高齢社会には、住み慣れた場所を中心に、医療、介護、予防、生活支援サービスを充足させる地域包括ケアシステムの構築が期待されている。当院は、今後とも回復期リハビリテーションをはじめ、通所リハビリや訪問リハビリ等の在宅サービスの充実を一層進めて行く。また、亜急性期救急患者の受入れなど、後方支援病院としての機能充実を図り、地域包括ケアシステム構築の一翼を積極的に担って行く。

- ・神経難病患者・人工呼吸器装着者等、在宅療養困難者の増加への対応

当院はこれまで、神経難病患者や人工呼吸器装着患者など、在宅療養の困難度が高い専門医療分野の患者を多く受入れており、今後もその要請に一層応えて行く。

- ・人材の育成、新技術の開発導入、地域介護力の増進

超高齢社会に相応しい優秀な医療介護人材の育成や、ロボットリハなどの新技術の導入、地域の社会資源を賦活して地域介護力を増進するなどの社会貢献に取り組んでいく

② 今後持つべき病床機能

- ・介護医療院

③ その他見直すべき点

・

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4 機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (平成30年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期		→	
急性期			
回復期	160		160
慢性期	238		178
休棟等			
(合計)	398		338
介護保険施設へ移行予定	—		60
うち、介護医療院	—		60

<年次スケジュール> ※今後のスケジュールがある場合に記入

年度	取組内容	到達目標
2019	慢性期病床60床を介護医療院に転換	地域で過剰な慢性期病床の削減

② 診療科の見直しについて ※検討の上、見直さない場合には、記載は不要

<ul style="list-style-type: none"> ・ ・
--

③ その他の数値目標について ※該当項目がある場合に記入

<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・

【4. その他】(自由記載)

--